



水土里情報を活用し、水稻防除事業を実施している事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット千葉
千葉県内13市町村（市町村植物防疫協会）

取組概要

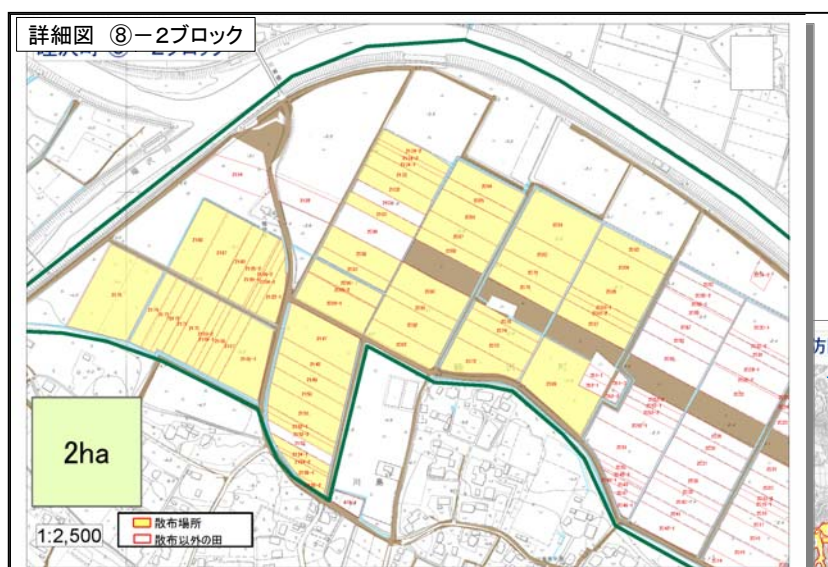
内容：ラジコンヘリによる水稻防除実施計画の策定に地図情報を利活用

毎年7月に実施するラジコンヘリによる水稻病虫害防除の事前準備として、水土里情報の農地筆図、地形図等の地図情報に作付情報、散布情報等を組み合わせ、町全体の水稻病虫害の防除計画と散布地図を作成。

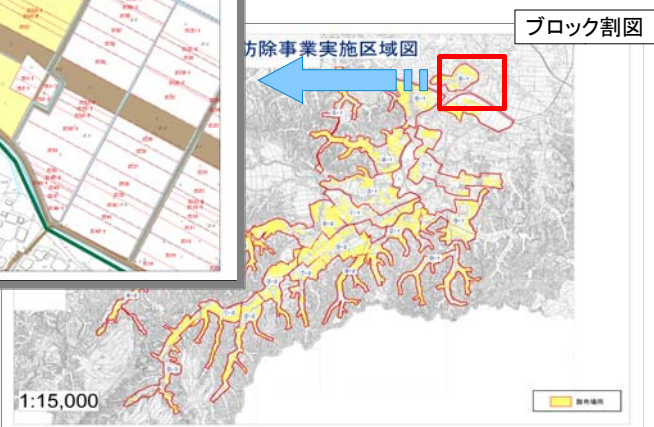
経緯：①従来は、職員が紙図面に手作業で着色し散布地図を作成していたため、多大な労力を要していた。

②平成19年度から水土里情報利活用促進事業により整備されたデータの利用を開始。水土里情報の農地筆図、地形図等に作物の作付情報、散布情報等を結合した図面をもとに、各申請者に対して空中防除の意向確認を実施し、空中防除対象ほ場の場所・ブロック・時間等を取りまとめた町全体の水稻病虫害防除実施計画とラジコンヘリ各機体毎の散布地図を作成。

水稻防除散布実施図面



(空中防除用ラジコンヘリ)



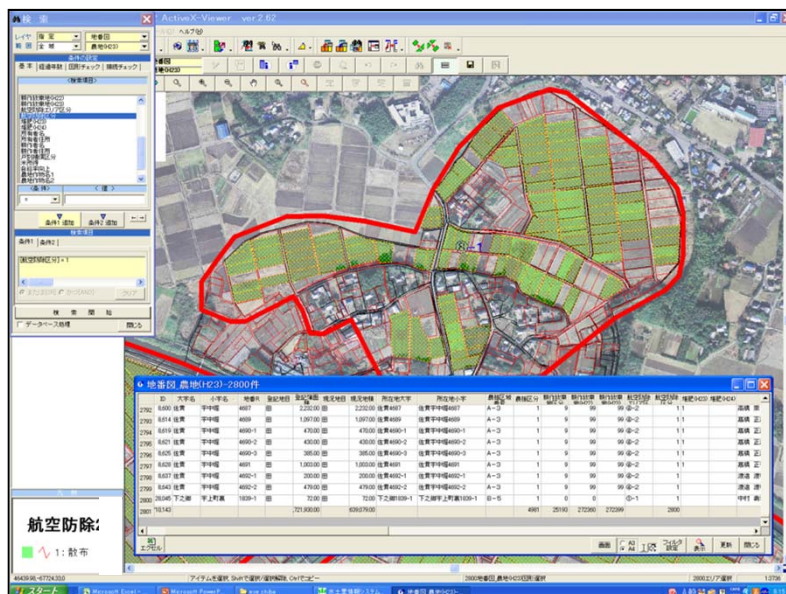
期待される効果

①防除計画図面を活用して関係農家と調整を図ることにより、正確な散布地図の作成が可能となり、計画に沿った効率的な防除の実施が可能となった。

②背景地図(地形図等)を併用することにより、現地での案内人に頼らずに防除対象ほ場の現地確認が容易になった。

(案内人等の労力節減)

③GIS集計ソフトを利用することにより、ブロックごとの防除面積の集計作業が極めて簡単にできるようになった。(作業労力の軽減)

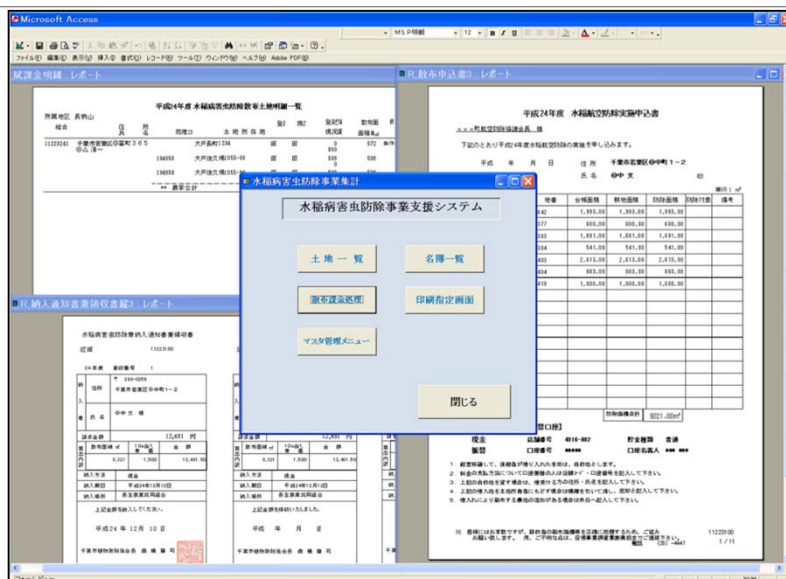


防除面積集計の画面表示イメージ

今後の活用予定

①モバイル端末を活用し、散布情報や現況写真を地図情報に取り込み更なる利便性を図っていく。

②防除の申し込み、農薬量の管理、料金の支払い等の事務支援システムと連携し、水土里情報システムの利用促進を図っていく。



水稲防除システムのイメージ

■お問い合わせ先

千葉県土地改良事業団体連合会(会員支援センター)

(社)千葉県植物防疫協会

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)

043-241-7745(直通)

043-247-0084

03-6744-2212(直通)